

進捗状況の概要

平成 27 年度は、9 月～12 月に、建築学部 3 年次対象にイギリス・カンタベリーにてハイブリッド留学を実施した。また、2 月～3 月に、全学部全学科全学年対象にアメリカ・シアトルにて新規にハイブリッド留学春期特別プログラムを実施した。

具体的な計画と実績は以下の通りである。

① イギリス・カンタベリーにおけるハイブリッド留学を実施する。

A) 建築学部 3 年生を対象にイギリス・カンタベリー市内および近隣地区でホームステイしながら、現地提携校 Concorde International のキャンパス内に用意された教室で、短期集中講座のローテーション方式で実施される本学の授業を受けた。また、現地提携校の外国人向けの英語授業を受講した。本学の建築学部の授業について、全科目必修でなく選択制を取り入れ、建築学部の授業を選択しなかった学生は英語の特別授業を受けられるように変更した。

B) 現地に補助作業室を適宜用意し、課題ワークに取り組みやすい環境を整えることについては、課題のために作業室が必要との要請が教員からあれば、追加で提携校の教室を借りられる体制をとっていた。実際に、フランスのパリ同時多発テロでの影響でブレイクウィークの旅行が中止となり課題対応となった期間は、課題ワーク用に提携校の教室を準備した。

(11/16-11/20)

C) 現地在住の建築家による授業を行った。

② アメリカ・シアトルにおいてハイブリッド留学春期特別プログラムを実施する。

A) 全学部全学年を対象にアメリカ・シアトル市内および近隣地区でホームステイしながら、現地協定校 North Seattle College のキャンパス内に用意された教室で、短期集中講座のローテーション方式で実施される本学の授業を受けた。また、現地提携校の外国人向けの英語授業を受講した。

授業に加え、専門や年齢を異にするメンバーでグループワークを行った。

B) 渡航前事前学習にて、留学後にどんな自分になっていたいか・そのためにどんな力が必要か・そのために意識してすることなどを目標設定シートに記入させた。また、チームワークを生かした課題として、4 名ずつチームを組んで、現地での生活で気づいたこと・生活の様子を写真と記事で毎日紹介する、という課題をこのプログラムから新たに取入れた。

③ 海外でのボランティア体験等を含めたプログラム開発に向けた調査を行う。

ハイブリッド留学春期特別プログラムにて、学生のボランティアとして老人ホームへの訪問を予定しているが、ボランティア団体については、調査は行っているものの新たなプログラム開発は難航している。

④ 建築学部 3 年生に対して社会人基礎力を測定するテスト「PROG」を実施する。

PROG を 2 月に実施した。(受験期間～2/29 まで)

⑤ 学内において年次報告を行い、外部評価委員を含む評価委員会による評価を受ける。

外部委員を含む評価委員会を設置し、3/5 に委員会を開催した。

⑥ パンフレットを作成し、配布し、プログラムの周知を図る。

2 月中にパンフレット(総合パンフレット及び各学部用のパンフレット)を作成した。入学してすぐ(1 年次前期)に留学が開始する工学部新生には、入学手続用資料に入れるだけでなく入学者スクーリング時にも配布・説明するなど、特に力を入れて周知している。

今後は、今年度から開始した春期特別プログラムについても、認知度を高めていきたい。

なお、ハイブリッド留学のホームページにパンフレットのデータを掲載する、リアルタイムでの記事掲載など情報を充実させて広く周知した。来年度に向けて、他大学へのパンフレット等を配布して広く周知することを検討した。